



2024年9月5日

各 位

会社名 株式会社広済堂ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 前川 雅彦
(コード：7868 東証プライム市場)
問合せ先 共同CFO上席執行役員 常盤 誠
電 話 (03) 3453-0557

過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出見込みに関するお知らせ

当社は、2024年8月9日に、2025年3月期 第1四半期決算発表を延期し四半期末後45日を超える見込みとなった旨お知らせいたしましたが、今般、2024年3月期の有価証券報告書等の訂正報告書を提出する必要がある事項が識別されたため、下記のとおりお知らせいたします。

株主、投資家をはじめとする関係者の皆様には、ご迷惑、ご心配をおかけいたしますことにつき心よりお詫び申し上げます。

記

1. 理由

当社子会社である東京博善株式会社の葬祭収益セグメント事業（火葬事業は含まれません。）において、同社が立ち上げた会員制団体に関し入会審査手数料を収受した取引について、入会審査手数料としての性格に鑑みて2024年3月期に一時点の収益として売上高計上（6億4百万円）したものの、実際には付随する役務提供を内容とする契約と一体として取り扱うべきものであり、当該整理を行った場合には役務提供期間である5年間にわたり按分して認識すべき収益であることが判明いたしました。当該事項は新社長による新経営体制のもとで、2024年3月期における重要取引の正確な理解をするべく取引内容の検討を行う過程において判明したものであり、その後、監査法人アヴァンティアと協議し、本日、過年度決算訂正が必要であると判断いたしました。

当社はその後の社内調査で判明したその他の軽微な誤謬（いずれも期間帰属の誤りによるもの）も含め、監査前の現時点において判明している影響額として、売上高7億4千万円程度、営業利益7億7千万円程度が減少するものであり、2024年3月期決算に与える重要性に鑑み、有価証券報告書の訂正報告書を提出する必要があるとの判断に至りました。

2. 今後の予定

訂正内容及び金額の重要性に鑑みて、有価証券報告書の訂正報告書に対して監査証明を付すべきものであると認識しており、2024年3月期の監査証明を行った興亜監査法人に監査を委嘱する予定です。また、当該訂正を受けて、内部統制報告書の訂正報告書を提出し、内部統制の開示すべき重要な不備を識別する見込みであることから、2025年3月期第1四半期の決算短信に対するレビュー業務を、現任監査人である監査法人アヴァンティアに委嘱する予定です。したがって、これら監査及び期中レビューに一定の時間を要する見込みであり、現時点においては、その完了時期は未定であるものの1ヵ月前後の期間を要するものと見込まれております。当社としましては、円滑な監査及び期中レビューに最大限協力し、これらが完了次第速やかに2024年3月期有価証券報告書等の訂正報告書及び2025年3月期第1四半期決算短信を提出する予定です。

3. 業績予想に与える影響について

2024年8月9日に開示いたしましたとおり、今回の会計処理が2025年3月期通期業績に及ぼす影響は軽微であり、2024年5月15日に公表いたしました2025年3月期通期業績予想に変更はございません。なお、開示が必要な場合には速やかに公表いたします。

以 上